

さかえ子育て支援センター

問い合わせ
福祉課 ☎2148 さかえ子育て支援センター ☎7766

児童施設などで子どもを見守っている職員にリレーインタビューをしています。12回目は4月20日にオープンしたばかりのさかえ子育て支援センターの児島敏光施設長にインタビューしました。



子育て支援リレーインタビュー Vol.12

さかえ子育て支援センターは、4月20日にさかえ保育所の隣にオープンしました。どんぐりハウス、松ヶ原こども館に次いで3つ目の地域子育て支援施設です。

さかえ子育て支援センターは、子どもの成長に応じて親子で一緒に楽しめるよう、絵本やおもちゃをそろえています。

また、赤ちゃんを寝かせ、オムツ交換ができるスペースも用意しています。近くに駐車場もあるので、車で来ることができます。



子育て支援についてどのように考えていますか。

子どもを産めば、それだけで親になれるわけはありません。子どもが成長していくように、親もまた子育てを通して成長していくものです。その手助けをすることが子育て支援だと考えます。時代とともに変化する社会事情や親子関係の中で、そのときそのときに何が必要なのかを察知し、必要なものを提供することを責任と感じ、支援センターを運営します。

育児のことで悩みがありましたら、気軽にスタッフにご相談ください。



Filed data

子育て支援センター

ところ 西栄3丁目12番25号

☎ ☎7766

開館時間

平日 10時～12時、
13時～16時

土・日曜日、祝日は休みです。

職員数 2人



支線交通の充実でもっと便利に快適に

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会 (市民課 ☎2142)

三ツ石乗合タクシー

「三ツ石乗合タクシー」は、支線交通のモデル地区として、平成21年10月から実証運行を開始しました。



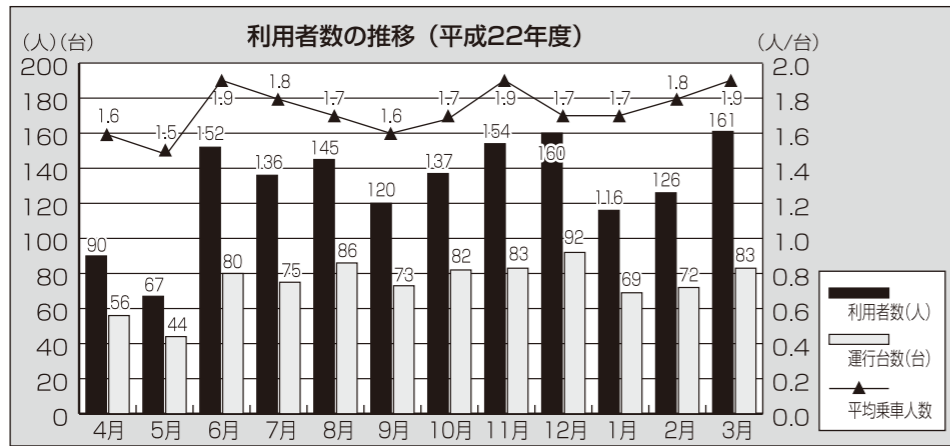
これまで地域一体で、率先して利用促進を図っており、利用者数も順調に増加しています。平成22年度の運行状況についてお知らせします。

昨年実施したダイヤ改正の話し合いのなかで、目標を「1カ月100人。1便2人」に定めました。

また、利用者から「1人利用では気が引ける。」との声が聞かれたため、「1人でも乗ろう。それが複数人での乗合につながる。」と、地域で声掛け運動を行いました。

年間利用者数

利用者数	運行台数	平均
1,564人	895台	1.75人/台



その結果、6月からは利用者が急増し目標を大きく上回る数で推移しています。

運営状況

収益率は約47%で、目標の50%に近づいています。

1便あたりの乗客数は、22年度平均で1・75人ですが、目標の2人に達するようになれば収益率も目標値を上回ります。

なお、運行損益は国と市が補助しています。

運営状況

運行経費	805,500円
運賃収入	376,100円
収益率	46.70%
運行損益	429,400円

三ツ石に続け

新たな支線交通

〇 玖波7丁目

運行内容の概要が固まり、実証運行の開始に向けた申請手続きなど、



(上) 地図を広げ、熱心に話し合う小島地区の推進委員

導入の最終段階を迎えています。

順調にいけば、7月中旬に乗合タクシーの実証運行を開始する予定です。

〇 小島地区

定時定路線(通常のバス)型の運行を想定し、大竹駅までの支線交通の導入にむけ取り組んでいます。

4月27日には第1回目の現地調査を行い、想定されるルート(試走)の計測や停留所の候補地を調査しました。

現在、調査結果をもとに、ルートやバス停などについて検討を進めています。

各自治会から選出された推進委員が精力的に活動を続けています。ご意見やアイデアなどがありましたら、遠慮なくお寄せください。